

# アサヒ ファシリティズのCSR

竹中グループCSRビジョン・企業理念を基礎に、日常業務の中でCSRの取り組みを実践・推進し、人・社会・環境と共生しながら、事業活動を通じて社会に貢献することを目指しています。

## ●竹中グループCSRビジョン

「竹中グループCSRビジョン」は、ステークホルダーとの対話を積極的に行いながら、竹中グループが対応すべき社会的課題を捉え、グループの総合力で課題を解決していくという姿勢および方向性を示しています。

## 竹中グループCSRビジョン

私たち竹中グループは、ステークホルダーとの対話を深め、その想いを「まちづくり」を通してかたちにし、未来のサステナブル社会へつないでいきます。

## 企業理念

当社の存在価値は、建築物が存続する限りその環境をより良く維持し、発展させていくことにあります。この社会的役割を担っていくためにも、持続的な成長を遂げるべく「経営理念」を制定しています。

この「経営理念」の具体的指針である「社是」および「われらのモットー」「環境方針」を合わせて、「企業理念」として位置づけています。

また、企業理念には従業員一人ひとりが理想と生きがいを持ち、研鑽、能力の向上を図っていくことへの期待がこめられています。

※2019年に「経営理念」を改定しました。

### アサヒファシリティズ

#### < 企業理念 >

**経営理念**  
最良の建物管理を世に供し、  
社会に貢献する

社是

われらのモットー

環境方針

企業行動規範

人権方針

調達方針

## ●「企業行動規範」の改定ならびに「人権方針」および「調達方針」の制定

2018年に、これまで以上に社会と価値観を共有した企業活動を推進していくため「企業行動規範」を一部改定しました。また、新たに「人権方針」および「調達方針」を制定しました。従業員一人ひとりが、これらを実践することで社会的責任を果たし、持続可能な社会の構築に貢献していきます。

## アサヒファシリティズ 「人権方針」 (2018年10月制定)

国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、国際的に認められた基本的な人権と労働基準を尊重し、人種、性別、宗教、性自認、障がいの有無等により、差別やハラスメントなど不当に扱われることのないよう、相互の理解と尊重に努め、健やかで働きがいのある環境を実現する。

※「企業行動規範」は P39 参照

※「調達方針」は P25 参照

## ●竹中グループとSDGs

「SDGs」は、2015年9月に開かれた国連サミットにおいて全会一致で採択された、地球環境や経済活動、人々の暮らしを持続可能とするために、2030年をゴールに、すべての国、地域、組織が当事者として関わることを求めた行動計画のことです。

竹中グループは、ステークホルダーの期待に応えるため、SDGsをはじめとする世界の潮流を意識し、CSRビジョン実現に向けて取り組みを推進しています。



# ステークホルダーとの関係

当社の事業は、お客様、お取引先、地域社会、従業員などさまざまなステークホルダーとの関わりの中で成り立っています。アサヒファシリティズはこれまで以上に社会と価値観を共有した企業活動を行うため、ステークホルダーとの対話の機会を増やし、皆様からいただいた声を事業に反映させていきます。



## ●CSR推進体制

業務執行の重要事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置し、迅速な意思決定を行うとともに、各種委員会を設置し、役割に応じて方針や施策の策定とその推進を行っています。また、経営の倫理性・透明性を高めるために、コーポレート・ガバナンスの強化を図っています。これらの体制をベースに、お客様満足と社会的信頼をより高めていくことで、企業の社会的責任を果たしていきます。

## 主な委員会の構成

社長(委員長)	企業倫理・危機管理特別委員会	●基本方針策定	●コンプライアンス推進
	安全衛生管理中央委員会	●リスクマネジメント推進	●安全活動推進
	環境管理システム推進中央委員会	●衛生環境整備	●環境活動推進
	TQM推進中央委員会	●基本方針策定	●環境マネジメントシステム運用
	情報化推進中央委員会	●TQM活動推進	●基本方針策定
		●情報化推進	